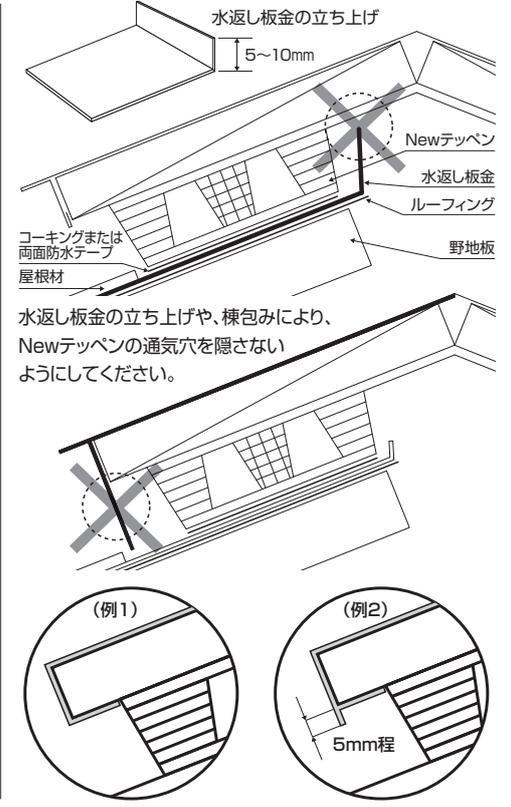
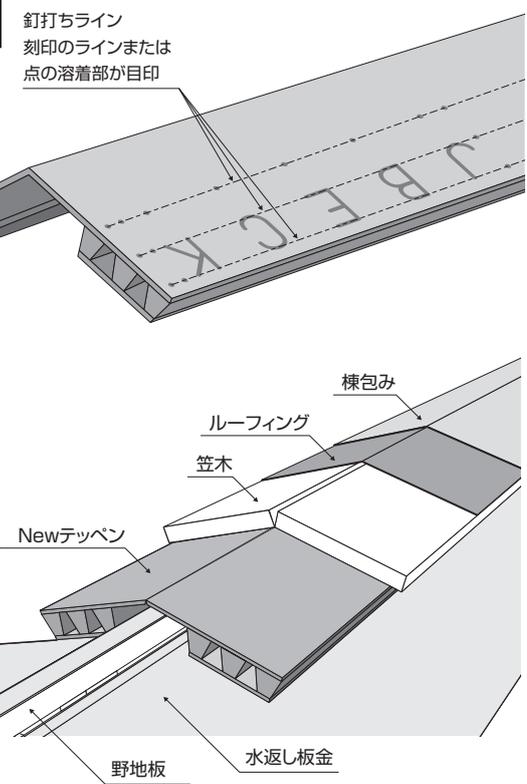
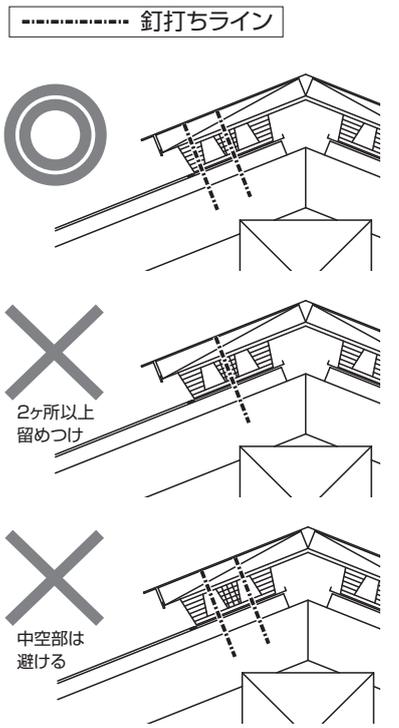


施工説明書

テッペン®

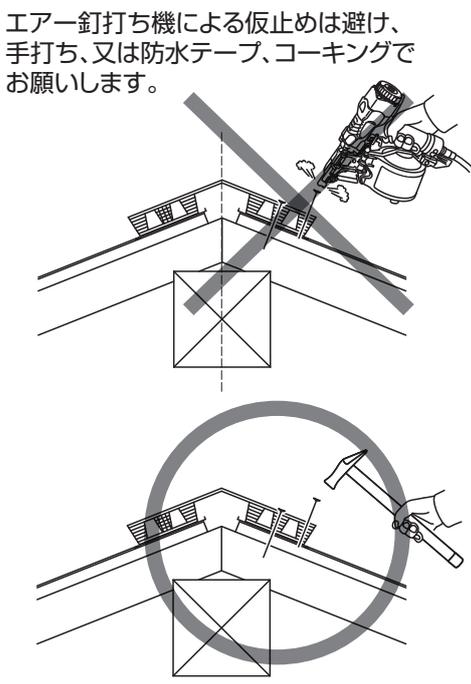
施工店様へのお願い 施工前に必ずこの説明書をお読みください。

施工上の注意

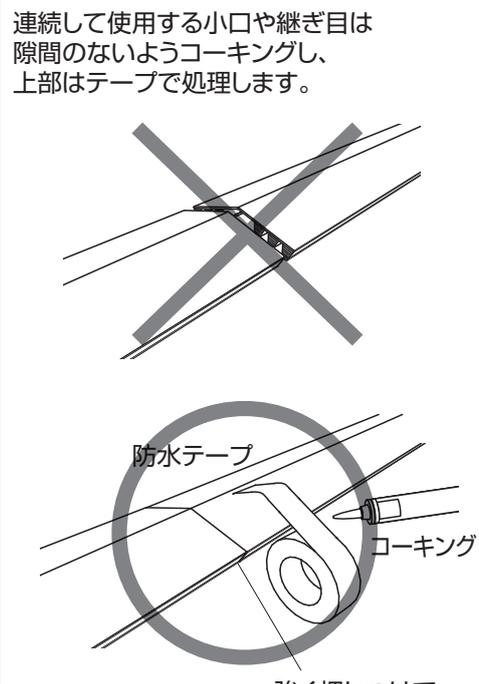


- 笠木は防腐処理したものが理想ですが、できない場合、ルーフィング又は防水テープで笠木を保護することをおすすめします。
 - 継ぎ目や水返し板金との隙間は必ずコーキング処理をしてください。隙間があると雨の浸入の原因になります。
 - 本留は笠木のそり防止のため必ずビス又はスクリーナ釘を垂木まで貫通させてください。
- ※市販の棟包みもご利用できます

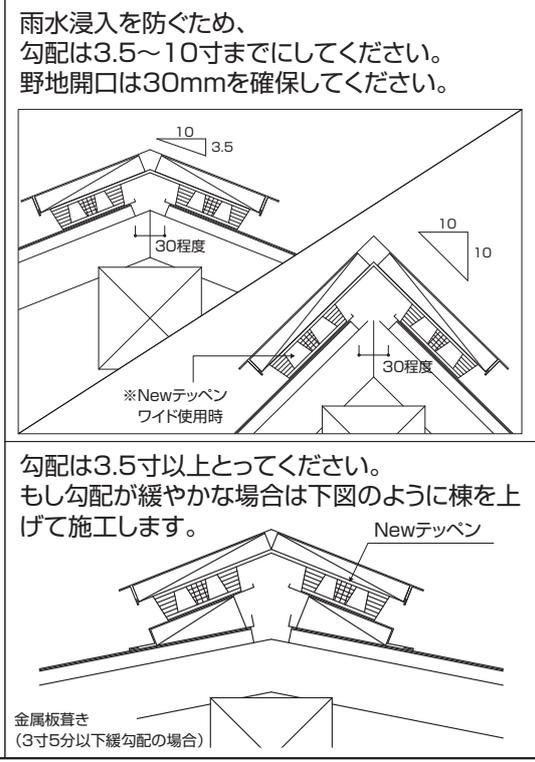
仮止め



小口処理



勾配



安全上のご注意

◎安全のために必ずお守りください。

- ❗ 屋根工事は高所作業です。正しい服装と保護具を着用してください。
- ❗ 雨天時や屋根面が濡れている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
- ❗ 製品を屋根面に置く場合、ロープ掛け等滑落防止の処置をしてください。滑り落ちる恐れがあります。

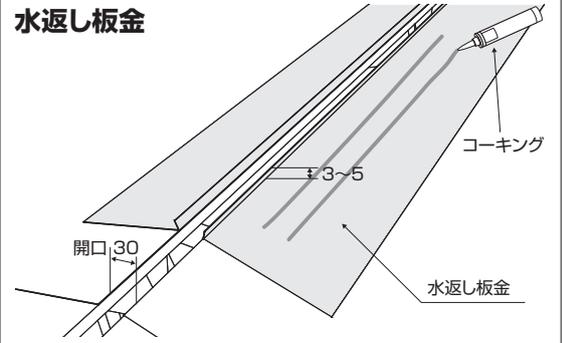
現場調達品

ステンレス釘、防水テープ、コーキング、笠木(厚15mm以上、幅任意)、水返し板金、棟包み、ステンレスビス、カラー釘 等

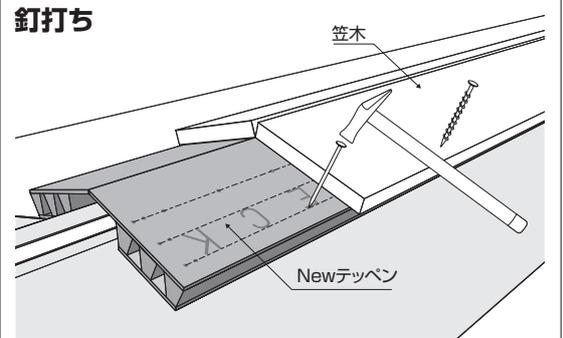
標準施工方法

- ① 棟頂部、野地板を30ミリ開口します。
- ② 立ち上げ3~5ミリほどの水返し板金を取付けます。
- ③ 水返し板金に重ねて棟まで屋根材を葺き上げていきます。
(※Newテッペン下部に屋根材を葺き上げない場合は開口部手前まで葺く)
- ④ Newテッペン取付け前に、屋根材棟部(水返し板金上部)にコーキング材又は防水テープで止水処理します。
- ⑤ Newテッペンを棟芯に合わせ、上から押えるように取付けます。
- ⑥ 継ぎ目や屋根材(水返し板金)との隙間をコーキングします。
- ⑦ ステンレス釘で、Newテッペンを仮留めします。
- ⑧ 笠木を取付け、ステンレスビスで野地垂木を外さないようNewテッペンを本留めします。
- ⑨ 笠木上部をルーフィング又は防水テープで保護します。
- ⑩ 棟包みを取付けます。側面からカラー釘で留めつけます。
- ⑪ 小口の折り返しや釘穴をコーキング処理します。
- ⑫ 完成です。

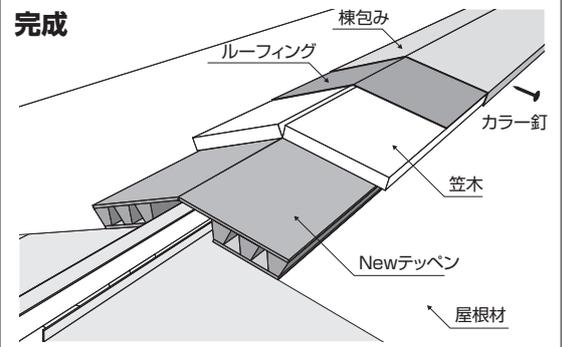
水返し板金



釘打ち



完成



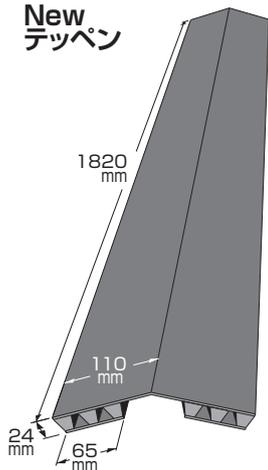
仕様

有効勾配：Newテッペン 3.5~6寸
Newテッペンワイド 5.5~10寸

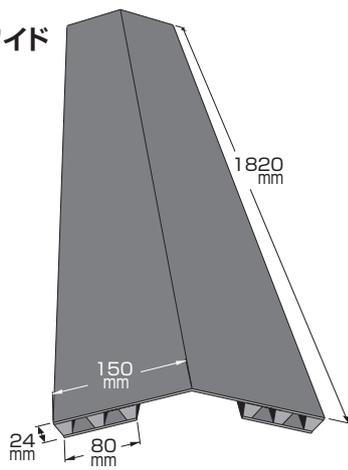
寸法：
Newテッペン 24×110(220)×1820mm
Newテッペンワイド 24×150(300)×1820mm

材質：耐候性ポリプロピレン
有効換気面積：524cm²/本
入数：5本

Newテッペン



Newテッペンワイド



JBECK[®]
ジェイベック株式会社



穏やかな室温と100年の耐久性を求めて

本社/新潟営業所 〒950-0863 新潟市東区卸新町1丁目2059-5
TEL (025) 250-8900 FAX (025) 250-8877

札幌支店 〒007-0801 札幌市東区東苗穂1条2丁目3-9
TEL (011) 781-8201 FAX (011) 783-6166

東北営業所(秋田) 〒010-1423 秋田市仁井田字大野1
TEL (018) 892-6080 FAX (018) 892-6085

東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-6-8 鈴木ビル
TEL (03) 3357-5755 FAX (03) 3357-5589

大阪営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町9-12第11マイダビル605
TEL (06) 6368-2040 FAX (06) 6368-2041

九州支店 〒813-0044 福岡市東区千早2丁目31-14
TEL (092) 674-3688 FAX (092) 674-3687